



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月13日

上場会社名 株式会社リグア 上場取引所 東
コード番号 7090 URL <https://ligua.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川瀬 紀彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 大浦 徹也 TEL 06 (7777) 0159
定時株主総会開催予定日 2025年6月26日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2025年6月25日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	2,872	△16.3	△86	—	△154	—	△186	—	△301	—
2024年3月期	3,430	20.9	274	—	118	—	93	—	104	—

(注) 包括利益 2025年3月期 △301百万円 (—%) 2024年3月期 103百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	△202.46	—	△65.2	△5.3	△5.4
2024年3月期	71.87	71.17	21.7	2.6	3.4

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 —百万円 2024年3月期 —百万円

(注) 1. EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却費

2. 2025年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	3,142	319	10.2	214.35
2024年3月期	3,869	604	15.6	407.91

(参考) 自己資本 2025年3月期 319百万円 2024年3月期 604百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	163	147	△290	1,321
2024年3月期	2	10	137	1,300

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,344	16.4	95	—	50	—	25	—	17.35

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2025年3月期	1,511,800株	2024年3月期	1,510,600株
2025年3月期	21,718株	2024年3月期	28,668株
2025年3月期	1,486,686株	2024年3月期	1,448,342株

(参考) 個別業績の概要

2025年3月期の個別業績 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	1,166	△24.1	△67	—	△85	—	△143	—
2024年3月期	1,535	25.5	80	—	85	—	100	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	△96.21	—
2024年3月期	69.15	68.48

(注) 2025年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	2,423	366	15.1	245.47
2024年3月期	2,742	493	18.0	332.60

(参考) 自己資本 2025年3月期 365百万円 2024年3月期 492百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

当事業年度は、「Ligoo POS & CRM」及び「レセONE」を株式会社スマレジに事業譲渡を行った結果、ソフトウェア売上が減少しました。また、IFMCの営業展開に注力した結果、IFMC導入院数は増加したものの、営業人員の採用及び育成が遅れたこともあり、取引単価の高い新規導入数が伸び悩んだ結果、健康サポート売上も減少する形となりました。ソフトウェアの事業譲渡により売上原価の減価償却費は減少したため、売上総利益率は改善しました。しかしながら、売上高が前事業年度を下回ったため、売上総利益が前事業年度を126百万円下回る結果となりました。

繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、法人税等調整額を65百万円計上しました。その結果、143百万円の当期純損失となりました。

以上の理由から、前事業年度と当事業年度の実績値に差異が生じております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明内容の入手方法)

決算補足説明資料は、T D n e tで同日開示した後に当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、代表取締役社長による決算説明の動画を当社ウェブサイトにて配信する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更に関する注記)	11
(セグメント情報等の注記)	11
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2024年4月1日から2025年3月31日まで)におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価高の継続に加え海外景気の下振れリスクや米国の政策動向に対する不確実性が意識されるなど、先行きは不透明な状況が続いています。

このような状況の中、当社グループは「DESIGNING WELLNESS LIFE」というパーパスのもと、「人生から不安をなくし、生きるをサポートする。」企業グループとして、人生における2つの不安「からだ」の不安をなくすウェルネス事業と「おかね」の不安をなくすファイナンシャル事業を展開しており、誰もが心から豊かで前向きになる“Wellness Life”が溢れる社会の実現を目指しております。

「からだ」を担うウェルネス事業では、当社のヘルスケアブランド「Dr. Supporter」「My. Supporter」「SLEEPINSTANT」をはじめとしたIFMC.製品を使用した新メニュー(血流改善プログラム等)の導入を積極的に取り組んでまいりました。また、ソフトウェア分野において、2024年5月1日付で「Ligoo POS & CRM」及び「レセONE」を株式会社スマレジに事業譲渡いたしました。

「おかね」を担うファイナンシャル事業では、保険代理店、金融商品仲介業(IFA)、財務コンサルティング等の経営支援を軸とするゴールベース・アプローチに基づいた総合金融コンサルティングサービスの提供を行ってまいりました。

その結果、当連結会計年度の経営成績は売上高2,872,367千円(前年同期比16.3%減)、営業損失154,729千円(前年同期は118,330千円の営業利益)、経常損失186,409千円(前年同期は93,953千円の経常利益)、ソフトウェアの一部を売却したことによる事業譲渡益を13,726千円等計上しましたが、親会社株主に帰属する当期純損失301,000千円(前年同期は104,085千円の親会社株主に帰属する当期純利益)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

<ウェルネス事業>

ソフトウェアは、接骨院向けシステムの販売や保守を行いました。「Ligoo POS & CRM」及び「レセONE」の事業譲渡を行った結果、売上高は255,479千円(前年同期比37.5%減)となりました。

機材・消耗品は、接骨院での自費施術メニューの拡大をする為の機材及び機材に付属する消耗品を販売しました。健康サポート(IFMC.)の営業に注力したことにより、機材の販売台数が減少し、売上高は262,982千円(前年同期比11.0%減)となりました。

コンサルティングは、接骨院の幹部または幹部候補者向けの研修及び新規利用者の獲得を目的としたWebコンサルティングを行いました。前期末にWebコンサルティング顧客の一部を売却したこと及び解約の増加等に伴い、Webコンサルティング契約が減少したことにより、売上高は369,394千円(前年同期比27.1%減)となりました。

請求代行は、接骨院等における事務負担の軽減を目的とした療養費請求代行サービスを展開しております。療養費請求代行サービスでの会員数増加やリース取引の増加等により、売上高は378,369千円(前年同期比0.5%増)となりました。

健康サポートでは、IFMC.技術を用いた当社のヘルスケアブランド「Dr. Supporter」「My. Supporter」「SLEEPINSTANT」を販売しております。IFMC.の営業展開に注力した結果、IFMC.導入院数は増加したものの、営業人員の採用及び育成が遅れたこともあり、取引単価の高い新規導入数が伸び悩んだ結果、売上高は582,085千円(前年同期比21.8%減)となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は1,848,311千円(前年同期比20.7%減)、営業損失29,452千円(前年同期は98,816千円の営業利益)となりました。

<ファイナンシャル事業>

保険代理店は、ウェルネス事業を展開する当社グループ及び提携先からの紹介等により生命保険及び損害保険の募集活動を行いました。案件成約が想定を下回った結果、売上高は482,805千円(前年同期比9.3%減)となりました。

金融商品仲介業(IFA)は、金融政策によるマーケットの影響がありましたが、積極的な営業展開を行った結果、売上高は424,200千円(前年同期比13.1%増)となりました。

経営支援・手数料は、M&A仲介手数料売上が減少したこと等により、売上高は117,050千円(前年同期比38.7%減)となりました。なお、当連結会計年度より「その他」から名称変更しております。また、「ウェルネス事業」セグメントの「コンサルティング」に区分されていた接骨院向け財務コンサルティングを計上しております。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は1,024,056千円(前年同期比6.8%減)、営業損失は125,277千円(前年同期は19,513千円の営業利益)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産

当連結会計年度末の資産合計は3,142,199千円となり、前連結会計年度末と比べ727,142千円の減少となりました。

流動資産は2,734,618千円となり、前連結会計年度末と比べ388,158千円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が24,675千円増加したものの、売掛金が42,751千円、営業貸付金が303,169千円、商品が63,155千円、リース債権及びリース投資資産が53,483千円減少したことによるものであります。

固定資産は407,580千円となり、前連結会計年度末と比べ338,983千円の減少となりました。これは主に、事業譲渡等によるソフトウェアが129,867千円、ソフトウェア仮勘定が36,670千円、繰延税金資産が94,525千円減少したことによるものであります。

②負債

当連結会計年度末における負債合計は2,822,391千円となり、前連結会計年度末と比べ442,050千円の減少となりました。

流動負債は2,047,126千円となり、前連結会計年度末と比べ431,467千円の減少となりました。これは主に、買掛金が42,466千円、短期借入金が194,235千円、1年内返済予定の長期借入金が83,507千円、未払法人税等が26,068千円、未払消費税等が38,021千円減少したことによるものであります。

固定負債は775,264千円となり、前連結会計年度末と比べ10,583千円の減少となりました。これは主に、長期借入金が12,482千円減少したことによるものであります。

③純資産

当連結会計年度末における純資産は319,808千円となり、前連結会計年度末と比べ285,092千円の減少となりました。これは、主に、自己株式処分差益を5,852千円計上、譲渡制限付株式報酬費用としての自己株式を9,854千円処分したものの、親会社株主に帰属する当期純損失を301,000千円計上したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は1,321,767千円となり、前連結会計年度と比べ21,075千円の増加となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動の結果、得られた資金は163,377千円(前連結会計年度は2,830千円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失169,560千円を計上したこと、仕入債務の減少額42,466千円、未払消費税等の減少額38,021千円があったものの、営業貸付金の減少額303,169千円、リース債権及びリース投資資産の減少額52,738千円、棚卸資産の減少額63,486千円等によるものであります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動の結果、得られた資金は147,721千円(前連結会計年度は10,783千円の収入)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出16,909千円、無形固定資産の取得による支出19,459千円があったものの、事業譲渡による収入176,329千円等によるものであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動の結果、使用した資金は290,023千円(前連結会計年度は137,185千円の収入)となりました。これは、長期借入れによる収入520,000千円があったものの、短期借入金の純減少額194,235千円、長期借入金の返済による支出615,989千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、ウェルネス事業においては、IFMC.技術を用いた当社のヘルスケアブランド「Dr. Supporter」「My. Supporter」「SLEEPINSTANT」の販売及びその他IFMC.製品の販売に引き続き注力いたします。また、営業人員の確保及び早期戦力化を図り、新規顧客開拓と既存顧客フォローに注力し、当社グループの顧客基盤の強化に向けて取り組んでまいります。

ファイナンシャル事業においては、保険代理店・金融商品仲介業・経営支援（財務コンサルティング、M&A仲介）によるクロスセルの重視から、個別の商品特性に応じた組織体制の見直しにより、利益の確保を優先課題として取り組んでまいります。

以上のことから、2026年3月期の業績予想につきましては、売上高3,344百万円（前年同期比16.4%増）、営業利益95百万円（前年同期は154百万円の営業損失）、経常利益50百万円（前年同期は186百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純利益25百万円（前年同期は301百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

（今般の米国の関税措置による事業及び業績への影響について）

関税対象となる可能性のある部材は一部ありますが、影響範囲は限定的で、業績への直接的な影響は軽微と見込んでいます。リスクのある製品については調達先や在庫を含めた対応を進めています。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,327,394	1,352,070
売掛金	315,608	272,856
営業貸付金	675,368	372,198
商品	322,008	258,853
原材料及び貯蔵品	30,698	30,367
リース債権及びリース投資資産	331,714	278,231
その他	122,631	175,348
貸倒引当金	△2,646	△5,308
流動資産合計	3,122,777	2,734,618
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	111,427	114,233
減価償却累計額	△41,679	△49,477
建物附属設備(純額)	69,747	64,756
車両運搬具	15,643	14,716
減価償却累計額	△15,643	△7,843
車両運搬具(純額)	0	6,872
工具、器具及び備品	137,317	144,066
減価償却累計額	△92,522	△109,852
工具、器具及び備品(純額)	44,795	34,214
建設仮勘定	3,258	3,258
有形固定資産合計	117,801	109,101
無形固定資産		
ソフトウェア	170,640	40,772
ソフトウェア仮勘定	36,970	300
顧客関連資産	2,533	—
のれん	123,650	106,633
その他	682	941
無形固定資産合計	334,476	148,647
投資その他の資産		
繰延税金資産	193,341	98,815
その他	104,189	54,615
貸倒引当金	△3,244	△3,599
投資その他の資産合計	294,286	149,831
固定資産合計	746,564	407,580
資産合計	3,869,341	3,142,199

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	48,831	6,365
短期借入金	1,100,000	905,764
1年内返済予定の長期借入金	527,306	443,799
未払金	123,442	94,815
未払費用	143,043	144,445
未払法人税等	48,890	22,822
未払消費税等	85,235	47,214
契約負債	28,518	24,771
預り金	327,308	332,942
賞与引当金	34,001	16,489
その他	12,014	7,695
流動負債合計	2,478,593	2,047,126
固定負債		
長期借入金	764,637	752,155
資産除去債務	21,088	21,182
繰延税金負債	121	1,926
固定負債合計	785,847	775,264
負債合計	3,264,441	2,822,391
純資産の部		
株主資本		
資本金	551,164	551,265
資本剰余金	470,132	476,085
利益剰余金	△386,951	△687,951
自己株式	△29,856	△20,002
株主資本合計	604,489	319,397
新株予約権	411	411
純資産合計	604,900	319,808
負債純資産合計	3,869,341	3,142,199

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	3,430,416	2,872,367
売上原価	1,551,041	1,166,781
売上総利益	1,879,375	1,705,586
販売費及び一般管理費	1,761,045	1,860,315
営業利益又は営業損失(△)	118,330	△154,729
営業外収益		
受取利息	75	859
保険解約返戻金	1,589	—
受取賠償金	17,606	—
受取保険金	—	436
受取賃貸料	—	361
その他	469	130
営業外収益合計	19,740	1,786
営業外費用		
支払利息	21,092	28,891
株式報酬費用消滅損	22,767	4,512
その他	257	62
営業外費用合計	44,117	33,466
経常利益又は経常損失(△)	93,953	△186,409
特別利益		
固定資産売却益	640	3,121
事業譲渡益	30,000	13,726
特別利益合計	30,640	16,848
特別損失		
固定資産売却損	14	0
特別損失合計	14	0
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	124,579	△169,560
法人税、住民税及び事業税	50,396	35,108
法人税等調整額	△29,741	96,330
法人税等合計	20,655	131,439
当期純利益又は当期純損失(△)	103,924	△301,000
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△161	—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	104,085	△301,000

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	103,924	△301,000
包括利益	103,924	△301,000
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	104,085	△301,000
非支配株主に係る包括利益	△161	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					新株予約権	非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
当期首残高	477,522	396,490	△491,036	△29,802	353,173	—	161	353,335
当期変動額								
新株の発行	73,642	73,642			147,284			147,284
親会社株主に帰属する当期純利益			104,085		104,085			104,085
自己株式の取得				△54	△54			△54
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						411	△161	249
当期変動額合計	73,642	73,642	104,085	△54	251,315	411	△161	251,565
当期末残高	551,164	470,132	△386,951	△29,856	604,489	411	—	604,900

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					新株予約権	非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
当期首残高	551,164	470,132	△386,951	△29,856	604,489	411	—	604,900
当期変動額								
新株の発行	100	100			200			200
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△301,000		△301,000			△301,000
自己株式の処分				9,854	9,854			9,854
自己株式処分差益		5,852			5,852			5,852
当期変動額合計	100	5,953	△301,000	9,854	△285,092	—	—	△285,092
当期末残高	551,265	476,085	△687,951	△20,002	319,397	411	—	319,808

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	124,579	△169,560
減価償却費	136,811	51,421
のれん償却額	19,770	17,016
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,833	3,016
賞与引当金の増減額(△は減少)	14,319	△17,511
受取利息及び受取配当金	△76	△859
支払利息	21,092	28,891
受取賠償金	△17,606	—
保険解約返戻金	△1,589	—
事業譲渡損益(△は益)	△30,000	△13,726
売上債権の増減額(△は増加)	△54,192	42,112
リース債権及びリース投資資産の増減額(△は増加)	△19,336	52,738
営業貸付金の増減額(△は増加)	△206,293	303,169
棚卸資産の増減額(△は増加)	△115,042	63,486
仕入債務の増減額(△は減少)	11,256	△42,466
前払費用の増減額(△は増加)	6,794	955
未払金の増減額(△は減少)	△29,249	△28,771
未払費用の増減額(△は減少)	66,384	1,402
契約負債の増減額(△は減少)	△34,221	△3,746
預り金の増減額(△は減少)	△33,292	5,633
未払消費税等の増減額(△は減少)	75,857	△38,021
その他	75,195	3,080
小計	12,994	258,261
利息及び配当金の受取額	75	859
利息の支払額	△21,399	△29,570
賠償金の受取額	17,606	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△6,446	△66,172
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,830	163,377
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,040	△3,600
有形固定資産の取得による支出	△8,016	△16,909
有形固定資産の売却による収入	—	3,121
無形固定資産の取得による支出	△14,562	△19,459
敷金及び保証金の差入による支出	△563	△951
事業譲渡による収入	30,000	176,329
保険積立金の解約による収入	4,706	—
その他	2,258	9,190
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,783	147,721
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	386,000	△194,235
長期借入れによる収入	250,000	520,000
長期借入金の返済による支出	△504,336	△615,989
株式の発行による収入	5,156	—
自己株式の取得による支出	△54	—
新株予約権の発行による収入	420	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	200
財務活動によるキャッシュ・フロー	137,185	△290,023
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	150,800	21,075
現金及び現金同等物の期首残高	1,149,891	1,300,691
現金及び現金同等物の期末残高	1,300,691	1,321,767

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの事業は、各社が取り扱っている主な製品・サービス別のセグメントから構成されており、「ウェルネス事業」及び「ファイナンシャル事業」の2つを報告セグメントとしております。

当連結会計年度より、事業内容をより明確に表現するため、従来「ファイナンシャル事業」セグメント内の「その他」と表記していたものを「経営支援・手数料」に表記変更しております。また、従来「ウェルネス事業」セグメント内の「コンサルティング」に区分していた接骨院向け財務コンサルティングを「ファイナンシャル事業」セグメント内の「経営支援・手数料」に区分変更しております。この変更に基づき、前連結会計年度のセグメント情報は、組替えて作成しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成するために採用されている会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			連結財務諸表 計上額 (注)2
	ウェルネス事業	ファイナンシャル 事業	計	
売上高				
ソフトウェア	378,577	—	378,577	378,577
機材・消耗品	221,861	—	221,861	221,861
コンサルティング	506,552	—	506,552	506,552
請求代行	376,445	—	376,445	376,445
健康サポート	744,644	—	744,644	744,644
保険代理店	—	532,462	532,462	532,462
金融商品仲介 (IFA)	—	375,119	375,119	375,119
経営支援・手数料	—	190,833	190,833	190,833
顧客との契約から生じる収益	2,228,081	1,098,416	3,326,497	3,326,497
その他の収益 (注)1	103,919	—	103,919	103,919
外部顧客への売上高	2,332,000	1,098,416	3,430,416	3,430,416
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,332,000	1,098,416	3,430,416	3,430,416
セグメント利益	98,816	19,513	118,330	118,330
セグメント資産	3,587,644	281,697	3,869,341	3,869,341
その他の項目				
減価償却費	130,896	5,914	136,811	136,811
のれんの償却額	19,770	—	19,770	19,770
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	20,030	2,397	22,427	22,427

(注) 1. その他の収益は、ソフトウェア及び機材・消耗品のリース取引によるものです。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			連結財務諸表 計上額 (注)2
	ウェルネス事業	ファイナンシャル 事業	計	
売上高				
ソフトウェア	235,800	—	235,800	235,800
機材・消耗品	200,615	—	200,615	200,615
コンサルティング	369,394	—	369,394	369,394
請求代行	378,369	—	378,369	378,369
健康サポート	582,085	—	582,085	582,085
保険代理店	—	482,805	482,805	482,805
金融商品仲介(IFA)	—	424,200	424,200	424,200
経営支援・手数料	—	117,050	117,050	117,050
顧客との契約から生じる収益	1,766,265	1,024,056	2,790,321	2,790,321
その他の収益 (注)1	82,046	—	82,046	82,046
外部顧客への売上高	1,848,311	1,024,056	2,872,367	2,872,367
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,848,311	1,024,056	2,872,367	2,872,367
セグメント損失(△)	△29,452	△125,277	△154,729	△154,729
セグメント資産	2,977,382	164,816	3,142,199	3,142,199
その他の項目				
減価償却費	45,647	5,774	51,421	51,421
のれんの償却額	17,016	—	17,016	17,016
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	25,367	11,370	36,737	36,737

(注) 1. その他の収益は、ソフトウェア及び機材・消耗品のリース取引によるものです。

2. セグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	407.91円	214.35円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	71.87円	△202.46円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	71.17円	－円

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失のため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	104,085	△301,000
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 又は 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失 (△) (千円)	104,085	△301,000
普通株式の期中平均株式数(株)	1,448,342	1,486,686
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	－	－
普通株式増加数(株)	14,100	373
(うち新株予約権(株))	(14,100)	(373)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第4回新株予約権 (新株予約権の数 15個) (普通株式数 1,500株) 第5回新株予約権 (新株予約権の数 2,055個) (普通株式数 205,500株)	第4回新株予約権 (新株予約権の数 15個) (普通株式数 1,500株) 第5回新株予約権 (新株予約権の数 2,055個) (普通株式数 205,500株)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。